



守屋多々志作
ギリシャの壺売り

大垣市議会だより

発行：大垣市議会 編集：市議会だより編集委員会 TEL：0584-47-8073

大垣市民の誓い

私たちは 水を生かし
緑を広げ 安全に努め
心を育て 助け合います

<インターネットURL>

大垣市議会

検索

第1回市議会定例会

令和2年度

当初予算などを可決

第1回市議会定例会を3月2日から17日までの日程で開催しました。

初日には、大垣市功労章を授与することについてなど4議案を先議し、市長から令和2年度予算など46議案について提案説明を受けました。

9日には、13名の議員が一般質問を行い（2～3面に掲載）、11日から16日には各委員会において付託議案の審査を慎重に行いました。

17日の最終日には、各委員長が審査結果の報告を行い、市長提出議案43議案を可決しました。また、議員提出議案として、大垣市議会委員会条例の一部改正についてや「中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書」を可決し、閉会しました。

可決された主な議案

令和2年度当初予算

◇一般会計が603億6000万円で前年度比6.4%減、特別会計は474億4780万円で11.9%減、企業会計は506億9520万円で23.7%増、総額1585億300万円で0.5%の減となっている。

補正予算

◇国の補正予算に伴い、川並小学校の外壁改修事業費6380万円、宇留生小学校及び江東小学校のグラウンド改修事業費1億7110万円などを計上。

条例等

◇大垣市犯罪被害者等支援条例の制定について

犯罪被害者等の権利利益の保護を図るため犯罪被害者等に対する市の施策の基本となる事項を規定するもの。

◇財産の取得について

大垣市土地開発公社経営の健全化に関する計画に基づき、福田公園用地及びアーチェリー場用地を取得するもの。

意見書（文面は4面に掲載）

◇中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書

新型コロナウイルス感染症に関する情報

市のHPでは感染症に関する最新情報や市主催のイベント中止などの情報をお知らせしています。

感染拡大防止のため、人との距離を保ち、不要不急の外出は控えてください。



市HP

定例会 日程

3月2日	本会議（提案説明）
9日	本会議（一般質問）
11日	市民病院に関する委員会
12日	建設産業委員会
13日	教育福祉委員会
16日	総務環境委員会
17日	議会運営委員会 本会議

令和2年度重点施策の主な事業

「安心できるまちづくり」

洪水ハザードマップのほか地震や土砂災害に関する対策をまとめた「防災ガイドブック」を最新の知見を踏まえた内容に改訂し、防災知識の普及・啓発に取り組む。

市民病院では、東海三県で初となる新型の放射線治療装置を購入し、西濃医療圏域の中核病院として、がん治療のさらなる充実を図る。

「元気があるまちづくり」

大垣城、墨俣一夜城、上石津多羅城とゆかりの戦国武将に焦点をあてた「戦国大垣3城再発見事業」を展開するほか、本市と同様、十萬石の城下町として発展してきた自治体と連携し、「十萬石サミット」を開催する。

「楽しく子育てができるまちづくり」

親子等でバスに乘車する際に運賃を無料にする「親子お出かけバスチケット」の対象児童を、小学校6年生以下に拡大する。
1歳未満の多胎児を養育する保護者を対象に、外出時のタクシー乗車料金の一部を助成する。

LINEアプリを活用して、保護者から学校に欠席などの連絡や、ウェブを介して保護者へのアンケートの送受信等ができるシステムを導入し、保護者の利便性の向上を図る。

市民の皆さまへ

新型コロナウイルスが猛威をふるう中、全国には緊急事態宣言が発令され、学校等の休業をはじめ、各種イベント等の中止・延期や活動の自粛等、市民生活に大きな影響を及ぼしています。

医療従事者をはじめ、私たちの生活を支えるため懸命に活動してくださる全ての皆様に心から感謝申し上げます。

我々は市民の皆さまの声を聞き、行政と力を合わせ、感染拡大防止、生活不安の解消等に全力で取り組んで参ります。

大変な日々が続きますが、私たち一人一人の行動が命を救うことに繋がります。一丸となって頑張りましょう。

大垣市議会議員一同



一般質問

3月9日に
一般質問を
行いました

新型コロナウイルス対策
について

近沢 正

質問…新型コロナウイルスの感染拡大により、市民の皆さんは不安に包まれている。長期休業となった幼稚園、小中学校に対して、本市の対策を伺う。また、中小・小規模事業者は大きな打撃を受け、資金繰りに苦しむ事業者が多くなると予想される。本市からの支援を要望する。

答弁…幼稚園と留守家庭児童教室は、子どもへの感染拡大を防ぐため、臨時休業としている。小中学校については、学校から週に数回程度、メールや電話等による連絡を行い、児童生徒の様子や学習の進み具合を把握し、保護者や児童生徒が不安に感じることを学校に相談できるようにしている。今後は家庭訪問などで児童生徒とコミュニケーションを図るとともに、感染状況を注視しながら、保護者への情報提供を行うなど、不安の解消に努めていく。

大垣市老人医療費助成金
制度（垣老）について

岩井 哲二

質問…「垣老」の受給者年齢を1歳引き上げ、71歳からとする議案の提案理由と、今後の垣老制度に対する本市の考えを伺う。今後、国内唯一であり、大垣の宝である垣老制度が永続的に維持されるよう要望する。

答弁…少子高齢化の進展に伴い、垣老制度を含む民生費は急増し、5年前と比較すると12億円増加している。主な要因は、後期高齢者医療療養給付費、介護保険給付費、障害福祉サービスにかかる給付費の増加で、今後、団塊世代が75歳以上になり、介護に係る給付費の増加が確実である。また、大垣市行政改革推進審議会から従前と同じ支給を続けることは支える側の市民負担が増加し、2度にわたり見直しを求める提言がされたことから提案したものである。垣老制度の存続を基本とする考えに変わりはしない。今後は、疾病予防や介護予防の取り組みを充実させ、医療費や介護給付費の抑制や制度維持に努める。

ICTを活用した教育について

長谷川 つよし



ICT機器を活用した授業

質問…ICTを活用した教育は、未来の教育に不可欠であり、大規模災害や今回のような感染症発生時ににおける学びの確保をはじめ、その活用には大きな可能性が秘められている。学校のICT整備の現状、これまでのICT教育の成果と課題、GIGAスクール構想の実現に向けた今後の取組を問う。

答弁…学校のICT環境としては、ネット回線を整備し、大型モニターやタブレットパソコンを配備してきた。大型モニターの活用やデジタル教科書等の使用により、学習意欲の向上に成果があったと考えている。しかし、タブレットパソコンの台数が少ないこと、通信環境が不十分なことなどが課題である。

GIGAスクール構想の実現に向け、高速大容量の通信ネットワークの構築や児童生徒に1人1台の端末を、令和5年度までに国の補助制度を活用しながら整備していく。

マイナンバーカードの利
活用について

中田 ゆみこ

質問…今年9月より、マイナンバーカードの所有者がキャッシュレスで買い物をした場合、ポイントが付与するマイナポイント事業がスタートする。この制度を利用するには、マイナンバーカードとマイキーIDの取得が必要だが、本市に一層の取得支援策を望む。

答弁…国が今年9月から実施するマイナポイント事業を利用するためには、個人を特定するマイキーIDの設定が必要となる。本市では、窓口サービス課にマイキーID設定支援コーナーを設け、マイナンバーカードの交付と併せて職員がマイキーIDの設定をサポートしている。今後は、広報おおがきや市ホームページのほか、ポスターやチラシなどでマイナンバーカードの普及とともに周知を図っていく。

電子市役所の本格稼働状
況について

関谷 和彦

質問…本市は、市民サービスの一層の質的向上を図る



庁舎案内ロボット
「あんない君」

ため、ロボットやAIなどのICT等先端技術を活用した電子市役所の構築を進めている。また、RPA、キャッシュレス決済、全館無料Wi-Fiなどの事業も開始した。本格稼働した電子市役所の状況、市民サービス向上への効果及び市民の反応等を伺う。

答弁…電子市役所が本格稼働して約2か月が経過したが、実証実験の段階と比較して、庁舎内のWi-Fi環境の月間利用者数が約8倍、市税等のキャッシュレス納付の割合が約1.5倍となったほか、住所と生年月日を印字する窓口申請書作成システムの導入により、約6割の申請者の手続きが簡略化できている。また、市税や子育てなどの市民からの質問にAIが回答するFAQ（よくある質問と回答集）も多くの皆様に利用されている。今後もRPAの活用などによる内部事務の合理化・効率化を進めるとともに、効果の高い事業や、市民に寄り添ったサービスを展開していく。

大垣市立地適正化計画に
おける「コンパクトシ
ティ・プラス・ネットワー
ク」について

不破 光司

質問…コンパクトシティ構想と公共交通を今後どのようにに連携させていくのか。また、河川別洪水ハザードマップによると、水害のおそれがある地域に居住する人口は、本市人口の8割以上になる。このような災害リスクを踏まえた上で、本市の立地適正化計画における居住誘導区域設定の検証をされるか伺う。

答弁…本市では、平成30年4月に大垣市立地適正化計画を策定し、持続可能なまちづくりにも配慮した公共交通のあり方や対応方針等を定める大垣市地域公共交通網形成計画の策定作業を進めている。今後は、高齢者の移動ニーズや地域特性等に対応するバス路線を見直し、新たな移動手段の検討等に努めていく。

居住誘導区域は適切に設定しているが、国・県と連携して河川の改修や排水機場の整備等の治水対策を継続的に実施し、災害に対するリスクの軽減を図る。今後は、定期的な防災訓練の実施や洪水ハザードマップの周知により防災意識の向上を図っていく。

婚活事業について

空 英明

質問…市長は今年の漢字に「生」を掲げた。子育て世帯の移住・定住策に加え、「出会いの場づくりの推進」が、その実現に繋がるのではないかと。かがやき婚活事業」の内容や実績、さらにはぎふ広域結婚相談事業支援ネットワークへの参画の検討等、本市の婚活事業に対する姿勢を伺う。

答弁…かがやき婚活事業は、平成22年度から青年団体OB等で構成する「かがやき婚活プロジェクト」と協働で進めており、これまでの10年間で59回のイベントを行い、222組のカップルが成立し、50組の方から結婚の報告をいただいている。令和元年度も5回のイベントで13組のカップルが成立し、4組の方から結婚の報告をいただいた。

次に、岐阜県が提供するぎふ広域結婚相談事業支援ネットワークには25市町が参画しており、本市でも参画を検討していく。

小中学校の一斉休業措置と子どものケアについて

はんざわ 多美

質問…小中学校の一斉休業に伴い、子どもたちは学年最後の行事や勉強の総仕上げができず、突然、それぞ

れの学年が修了した。学校が急に休業になったことから生じる子どもたちへの心のケアと学習のケアについて伺う。また、学校として子どもたちのために柔軟な取組を望むが、本市の対応を伺う。

答弁…子どもたちの心のケアについては、児童生徒や保護者の不安を学校や教育総合研究所に相談できるようにするとともに、学級担任が児童生徒の心に寄り添い話を聞く支援を行っている。また、家庭での学習のケアについては、各教科等の学習の進め方や教材例を示し学習支援に努めている。

今後は、感染状況を踏まえ、期間を区切って支援方法を工夫することで学年を締めくくり、目標をもって新たな学年を迎えられるよう努めていく。

県観光ビッグイヤーと本市の観光振興について

田中 孝典

質問…県は、今年7月に約50億円を投じて「関ヶ原古戦場記念館」を完成させる。令和2年度を観光ビッグイヤーとして、集中的に観光振興を図る考えである。「奥の細道むすびの地記念館」をゲートウェイとして西濃各地や近隣県と観光ループ

を結び、共存共栄の観光振興を図る時期である。本市の考えを伺う。

答弁…今年は、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放映や関ヶ原合戦420年など国内外から西美濃地域に注目が集まる観光ビッグイヤーである。関ヶ原古戦場記念館や奥の細道むすびの地記念館は西美濃観光拠点のゲートウェイとなる。この観光ビッグイヤーを確実に生かすため、本市を始め西美濃地域の魅力を大いに発信し、県や関係市町等と連携し盛り上げていく。

市民病院の改革について

岡田 まさあき

質問…人口減少社会になり、年々、外来・入院患者が減少傾向にある。精神科

の復活や診療報酬加算される経営改革をさらに進めたい。ジェネリックの利便促進も急務である。内部留保が自治体病院の中で日本一の今こそ、新2病棟の建て替えや病院玄関に公共バスの乗り入れなどの計画を進めるべき時だ。

答弁…当院は、7対1入院基本料をはじめ特定集中治療室管理料や病棟薬剤業務実施加算など、多職種によるチーム医療を推進し、診療報酬上可能な加算の算定に取り組んでいる。精神科

の復活は全国的に勤務医が不足し、人材確保が困難な状況である。ジェネリック医薬品の利用は、引き続き利便促進に努める。新2病棟の建て直しなどは用地の取得等の数多くの課題がある。

ひとり親家庭の支援について

中田 としや

質問…ひとり親家庭の約半数が相対的貧困状態にあると言われ、その支援が必要である。厚労省の調査によると、養育費の取決めをしていない世帯を含めて、養育費を継続的に受け取れている母子家庭は4世帯に1世帯しかない。養育費を定める公正証書の作成費用補助等、養育費受け取りの支援を行ってはどうか。

答弁…本市では、約1100世帯がひとり親家庭であり、児童扶養手当の支給や医療費助成制度、就学援助制度などの経済的支援や、就職に有利な資格取得を目指す給付金の支給を行っている。養育費受け取りの支援については、パンフレットで養育費の取決めや手続きの方法を周知し、トラブルなどについては法律相談を紹介している。公正証書などの作成費用や、養育費保証制度の保証料に対する助成などについては今後の研究課題としていく。

スマートシティ大垣について

北野 ひとし

質問…人口減少社会においてAIやIoTの活用は必要かつ重要である。本市の業務改革、働き方改革、防災、電子申請、LINEによる問い合わせ等に活用する効果は行政と市民の両方にある。それぞれが抱える問題点やニーズを把握、分析し、優先順位を決定し取り組むべきだと考える。本市の考えと計画を伺う。

答弁…本市では、平成31年3月に大垣市ロボット等活用まちづくり指針を策定し、行政や産業をはじめ、家庭、福祉、教育など、あらゆる分野において先端技術の利活用を推進している。この指針では、具体的に取り組む5つの方策を定め、電子市役所の構築やタブレット端末を活用した通訳サービスの導入、小学校におけるプログラミング教育を実施している。今後は、市民サービスの向上や内部業務の効率化が期待できる業務において、AIやICT、RPAなどの先端技術を民間事業者等と連携し、費用対効果の検証を行い、本格実施につなげていく。

保育施設周辺への「キッズゾーン」整備について

梅崎 げんいち



保育施設周辺に設置されたガードパイプ

質問…昨年5月、滋賀県大津市で保育園児らが巻き込まれる交通事故が起きた。これを受け、国は保育施設周辺のキッズゾーン整備を促す通知を出した。未来の宝である子どもたちを痛ましい事故から守るため、本市においても整備を進めるべきと考えるが見解を伺う。

答弁…本市では、滋賀県大津市の交通事故を踏まえ、昨年6月から8月に市内保育施設において、園外活動時に園児が通行する経路の自主点検を実施した。9月には市、県、保育施設、警察署と緊急合同点検を実施した。その結果、園児に危険を及ぼすおそれがある市内62か所について、園外活動の経路を見直すとともに、注意喚起の看板やガードパイプ等の設置を行った。保育施設周辺へのキッズゾーンの設定については、今後の研究課題としていく。

意見書

第 1 回定例会で可決された意見書は次のとおりです。
意見書は国会をはじめ、内閣総理大臣及び関係各大臣等に送付し、実現を要望しました。

中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書

従来、ひきこもりは主として若年・青年層の課題としてイメージされてきた。しかし最近では、就職氷河期世代も含め中高年層に及ぶ大きな社会問題としてクローズアップされてきている。

政府が中高年層を対象に初めて実施した全国規模の調査が、昨年 3 月公表されたが、40～64歳のひきこもりが全国で約61万人に上るという推計は社会に大きな衝撃を与えた。ひきこもり期間の長期化や高齢化により、高齢者の親とともに社会的に孤立するケースも少なくない。

政府としては、これまで都道府県・政令市への「ひきこもり地域支援センター」の設置や「ひきこもりサポーター養成研修・派遣事業」を行ってきたが、今後は、より身近な場所での相談支援の実施や社会参加の場の充実など、就職氷河期世代も含めた中高年のひきこもりに対して、これまで以上に実効性ある支援と対策を講じるべきである。

そこで政府におかれては、中高年のひきこもりは、個人やその家族だけの問題ではなく、社会全体で受けとめるべき大変重要な課題と捉え、次の事項について早急に取り組むことを強く求める。

1. より身近な場所での相談支援を行うため、自立相談支援機関の窓口アウトリーチ支援員を配置し、同行相談や信頼関係の構築といった対本人型のアウトリーチ支援を実施すること。また、自立相談支援の機能強化に向けたアウトリーチ等を行うための経費については、新たな財政支援の仕組みを創設すること。
2. 中高年のひきこもりにある者に適した支援の充実を図るため、市区町村による「ひきこもりサポート事業」のさらなる強化を図ること。具体的には、中高年が参加しやすくなるような居場所づくりやボランティア活動など就労に限らない多様な社会参加の場の確保。さらには家族に対する相談や講習会などの取り組みを促進すること。
3. 「8 0 5 0 問題」など世帯の複合的なニーズやライフステージの変化に柔軟に対応できるよう、「断らない相談支援」や「伴走型支援」など、市区町村がこれまでの制度の枠を超えて包括的に支援することができる新たな仕組みを構築すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 2 年 3 月17 日

大 垣 市 議 会

◆傍聴自粛のお願い

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、当面の間、開催を予定している定例会の傍聴は、ご遠慮いただきますようお願いします。



◆本会議・委員会会議録がご覧いただけます。

本号に掲載された質問・答弁等の詳しい内容については、図書館、市政情報コーナー、市議会ホームページなどでご覧いただけます。
(発行・掲載予定 5 月下旬)

ホームページは



◆一般質問の録画放映(ケーブルテレビ)

大垣市議会では、市民の皆さまに議会活動への理解を深めていただくため、各定例会(3月、6月、9月、12月)の一般質問を大垣ケーブルテレビ(11ch)による録画で放映しています。次回の放映は、6月中旬(一般質問が行なわれた週の土・日)を予定しています。

令和 2 年第 1 回定例会 議案審議結果一覧

全会一致で可決された議案

議案番号	議 案 名	議案番号	議 案 名
議第 2 号	令和 2 年度大垣市物品調達会計予算	議第28号	大垣市森林環境譲与税基金条例の制定について
議第 3 号	令和 2 年度大垣市公共用地先行取得事業会計予算	議第29号	大垣市産業活性化条例の制定について
議第 4 号	令和 2 年度大垣市国民健康保険事業会計予算	議第30号	大垣市職員の給与に関する条例等の一部改正について
議第 5 号	令和 2 年度大垣市国民健康保険直営診療施設事業会計予算	議第31号	大垣市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について
議第 6 号	令和 2 年度大垣市後期高齢者医療事業会計予算		
議第 7 号	令和 2 年度大垣市介護保険事業会計予算	議第32号	大垣市手数料徴収条例の一部改正について
議第 8 号	令和 2 年度大垣市市行造林事業会計予算	議第33号	大垣市基金条例の一部改正について
議第 9 号	令和 2 年度大垣市公設地方卸売市場事業会計予算	議第34号	大垣市印鑑登録条例の一部改正について
議第10号	令和 2 年度大垣市駐車場事業会計予算	議第37号	大垣市国民健康保険条例の一部改正について
議第12号	令和 2 年度大垣市牧田財産区会計予算	議第38号	大垣市営住宅条例等の一部改正について
議第13号	令和 2 年度大垣市一之瀬財産区会計予算	議第39号	大垣市特定非営利活動促進法施行条例の廃止について
議第14号	令和 2 年度大垣市時財産区会計予算	議第40号	大垣市福祉基金条例の廃止について
議第15号	令和 2 年度大垣市病院事業会計予算	議第41号※	財産の取得について
議第16号	令和 2 年度大垣市水道事業会計予算	議第42号※	財産の取得について
議第17号	令和 2 年度大垣市簡易水道事業会計予算	議第43号	損害賠償の額の決定について
議第18号	令和 2 年度大垣市公共下水道事業会計予算	議第44号	大垣市功労章を授与することについて
議第19号	令和 2 年度大垣市特定環境保全公共下水道事業会計予算	議第45号	大垣地域公平委員会委員の選任について
議第20号	令和 2 年度大垣市農業集落排水事業会計予算	議第46号	大垣市固定資産評価審査委員会委員の選任について
議第21号	令和元年度大垣市一般会計補正予算 (第 4 号)	議第47号	人権擁護委員候補者の推薦について
議第22号	令和元年度大垣市公共下水道事業会計補正予算 (第 2 号)	市議第 1 号	大垣市議会委員会条例の一部改正について
議第24号	令和元年度大垣市時財産区会計補正予算 (第 1 号)	市議第 2 号	中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書
議第25号	令和元年度大垣市病院事業会計補正予算 (第 2 号)	※石田議員、長谷川議員、関谷議員、近沢議員は除斥	
議第26号	令和元年度大垣市水道事業会計補正予算 (第 1 号)	除斥…議会における審議を公正なものとするため、一定の利害関係がある議員はその議案の審議に参加できないこと。	
議第27号	大垣市犯罪被害者等支援条例の制定について		

賛否が分かれた議案

賛否が分かれた議案			議会内統一会派														議会内 統一会派						
議案番号	議 案 名	議決結果	大垣市議会自由民主党緑風会										市議会 公明党		自民クラブ		民主クラブ		日 本 共産党		市 民 ネット ワーク		
			議長 日比野 芳幸	田中 孝典	関谷 和彦	石田 仁	林 新太郎	石川 まさ と	長谷 川つ よし	空 英明	近 沢 正	不破 光司	中田 ゆみ こ	梅崎 げん いち	川上 孝浩	高橋 滋	岩井 哲二	岡本 敏美	丸山 新吾	粥川 加奈 子	北野 ひと し	中田 とし や	はん ざわ 多美
議第 1 号	令和 2 年度大垣市一般会計予算	可決	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	×	×	×
議第11号	令和 2 年度大垣市競輪事業会計予算	可決	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	×	×	×
議第23号	令和元年度大垣市競輪事業会計補正予算（第 1 号）	可決	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	×	×	×
議第35号	大垣市出産祝金支給条例の一部改正について	可決	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	×	×	×
議第36号	大垣市老人医療費助成金条例の一部改正について	可決	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	×	×	×

○＝賛成、×＝反対 議長は採決に加わらないため、斜線としています。